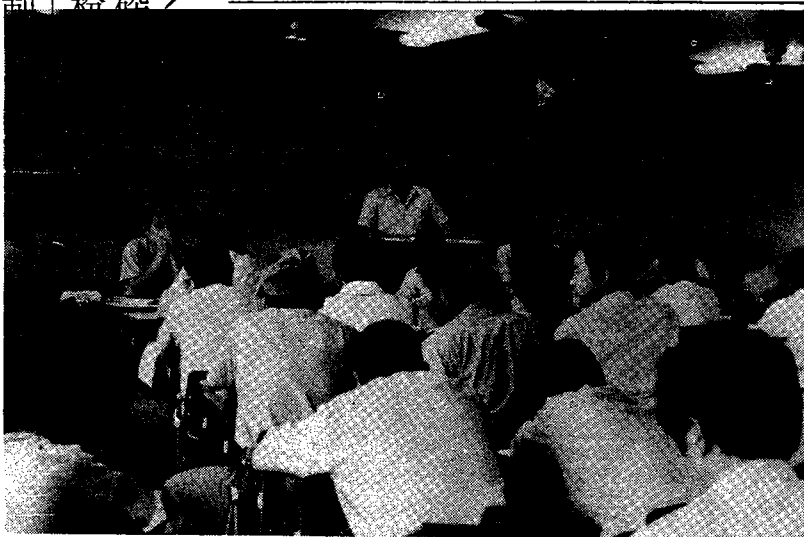


職場からの抵抗闘争を 幕張支部で取場集会 (6/29)



幕張支部は、6月29日、講習室において、8名の組合員を結集して取場集会を開催した。そして、三里塚と国鉄を基軸に、とりわけ今日取場を直撃している既得権慣行の剝奪攻撃に対して取場からの反撃にうつて出る事を確認し、直ちに全組合員による具体的な体制づくりについて強固な意志一致をかちとった。

「5711ダイヤ改」合理化を許すな!

本部は6月28日の支部代確認に基づき、「取場事態を見直し、全支部で長期非協力闘争を叩いていくためのモデル取場に指定した、この幕張支部の取場集会に7名の役員を派遣した。集会は滝口支部書記長の司会で始めら

れ、最初に白井支部長より、この日の取場集会が動労千葉全支部の闘いの先陣を切る重要な位置をもっていることにかまえた決意とあいさつ、及び、当面する課題である「5711ダイヤ改での要員合理化問題」「夏季輸送交渉の集約内容」等についての報告がなされた。本部を代表して山口副委員長から情勢に関する報告を受けた。すなわち、「ヨカニ臨調」に見られる国鉄労働運動解体攻撃は、戦争体制づくりのための労働組合つぶしだ。国鉄当局は「臨調」の「緊急措置11項目」の前におしの攻撃をかけてきている。ところが国労中央は「正すべきは正す」なる風服路線をとり、動労本部「革マルに至っては今は叩くべきではない。嵐が通り過ぎるまで地べたにはって、通り過ぎるのを待つ」として、永遠の冬の時代「主義者として反労働者的な「傍こう運動」を路線化し、当局・臨調の先女となって反動的な役割を果している。動労千葉は、政府・自民党・国鉄当局本部「革マル」一体となった、軍事大圏化「労働運動解体攻撃」に決して、全組合員一丸となって長期強敵な取場からの抵抗闘争を展開する方針を決定した。幕張支部はその先陣で頑張ってほしい」と述べ、全員が拍手で確認した。

マル生闘争教訓化し、一丸となり叩こう

82.7.2

No.1084

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五六(会務)品三三二七二〇七

三里塚・反合を基軸に

△年輩者は英知を、若者はパワーを▽
討論の後、滝口支部書記長より、支部としての具体的取り組みを中心とした方針提起を受けた。「5711」を見すえて、まず今からできるものからどんどん積み上げていこう。マル生の時、旧千葉気動車区で汗と油にまみれて全員が必死で闘い勝利してきたあの教訓をほり起し、創意工夫をこらし、年輩者は英知を、中年の皆さんはパワーを、青年部は力強いエネルギーを爆発させよう。△三里塚・国鉄を基軸に▽さらに日本の労働運動が今日の軍事大圏化改憲攻撃の下で、右翼労働「統一」攻撃に屈服し、戦争へ引きずり込まれようとしている。その最大焦点である三里塚現地では政府公団によるパテント的な「農振策」をはじめとし、話し合い「路線」なる、条件賛成派をつくって、

反対同盟を分裂させようという卑劣な攻撃が激化している。ゆれゆれは、74三里塚現地絶決起集会を大成功させ、二期着工プランをガタガタにつき崩して、反動鈴木内容を追いつめ打倒する事が、労働運動の未来をもきりひらく道である事をしるかりと確認し、三里塚・反合を基軸とした労働運動路線の真価を發揮して叩かおう」と提起。

映画「人間をかえせ」に感動

また15時半から映画「人間をかえせ」が上映された。全世界でまき起る反戦・反核の高まりの中で日本における闘いととりわけ三里塚と反戦反核を結合して大高揚をかちとった523・24闘争の高揚は注目されている。全参加者は、この映画に衝撃をうけ、心を揺り動かされ、74集会の成功をかちとる事を誓って、集会を終了した。

七四三里塚闘争

△動労千葉集会
10時 成田運転区